

# 第162期 株主通信

2025年4月1日 ▶ 2026年3月31日

**新家工業株式会社**  
証券コード:7305

## 株主の皆様へ



取締役社長  
市川圭司

株主の皆様には、ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。

平素は格別のご高配を賜り、厚くお礼を申し上げます。

さて、第162期(2025年4月1日から2026年3月31日まで)の当社グループの業績につきまして、その概要をご報告申し上げます。

当連結会計年度における我が国経済は、雇用・所得環境の改善や各種政策の効果を背景に、緩やかな回復基調で推移したものの、物価上昇の継続や中東情勢をはじめとする海外経済の不確実性により、景気の先行きは依然として不透明な状況が続いております。

鉄鋼業界においては、建設・製造分野を中心としたコストの高止まり等の影響により、投資計画の見直しや中止の動きがみられ、国内需要は低調に推移いたしました。加えて、安価な海外材の流入により国内市況は悪化し、事業環境は厳しい状況が続きました。

このような事業環境のもと、当社グループの主力である鋼管事業については、生産体制の再構築および採算性を見直しを進めるとともに、新製品の拡販や新規顧客の開拓に取り組みましたが、販売数量は微減となり、販売価格の下落も影響し、売上高は減少いたしました。

一方で、不採算部門の見直しを進めたことにより、収益性は改善いたしました。

この結果、当連結会計年度の売上高は40,447百万円(前年度比5.6%減)、営業利益1,885百万円(前年度比14.9%増)、経常利益2,306百万円(前年度比21.0%増)となり、親会社株主に帰属する当期純利益は1,521百万円(前年度比28.5%減)となりました。

なお、期末配当につきましては、中長期的な企業価値の向上に向けた戦略的投資や財務体質強化のために必要な内部留保を確保しつつ、安定的な配当の継続と業績に応じた適正な利益配分を行うことを配当政策の基本方針としており、この方針に基づき1株につき220円とさせていただきます。これにより、中間配当(1株につき100円)を含めました当期の年間配当金は1株につき320円となります。

今後の景気の見通しにつきましては、個人消費やインバウンド需要の堅調な推移に加え、設備投資にも動きがみられますが、原油の高騰による資材価格の上昇や調達環境の不安定さが続く中で、円安に伴う輸入コストの増加、海外経済の減速などの影響もあり、先行きの不確実性は高い状況にあります。

鉄鋼関連につきましては、建設・製造業ともに需要は横ばいから弱含みで推移すると想定され、厳しい事業環境が継続する可能性が高く、資源価格の高騰や為替の変動を背景に、原材料費や副資材の上昇が続いており、業界各社では収益確保に向け、値上げの動きが強まっております。

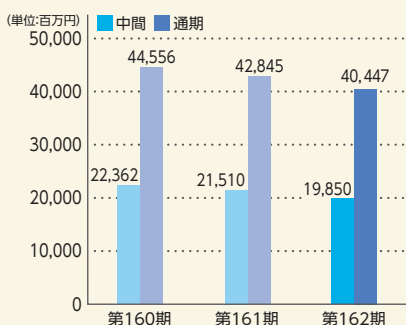
このような状況のもと、当社グループにおきましても、市場動向を踏まえた販売価格の見直しを進めるとともに、生産性の向上、既存製品の拡販、新製品への販売強化、さらには材料調達の見直しなど製販連携の強化により、利益の確保に努めてまいります。

株主の皆様におかれましては、今後ともよろしくご支援賜りますようお願い申し上げます。

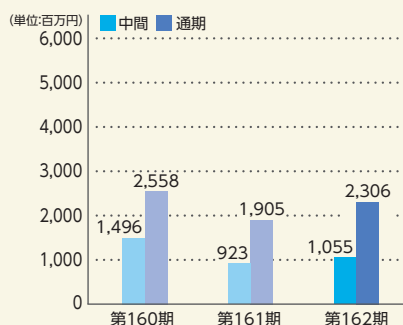
2026年6月

## 財務ハイライト(連結)

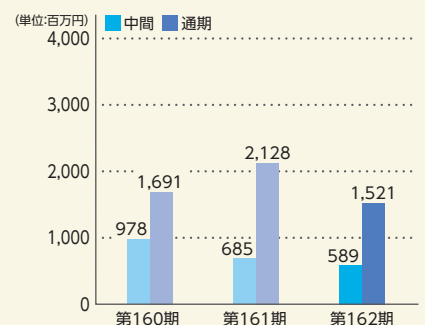
### ● 売上高(連結)



### ● 経常利益(連結)



### ● 親会社株主に帰属する当期(中間)純利益(連結)



# 事業別概況

## 鋼管関連事業

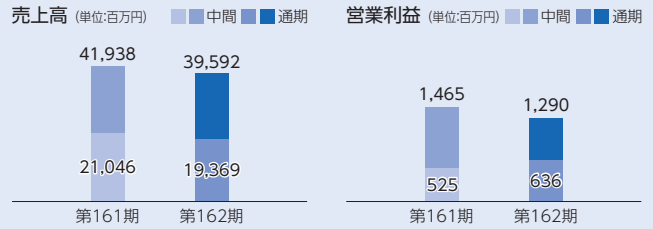
売上高  
**39,592**百万円  
前年度比 **5.6%**減

普通鋼製品において、自動車関連分野では、インバウンド需要の回復により観光バス向け需要に持ち直しの動きがみられたものの、北米向け輸出環境の不透明さなどから、市況は弱含みで推移いたしました。また、建築関連分野では、資材価格の高止まりや時間外労働規制の影響により、中小規模案件の延期・見直し・中止が相次ぎ、需要の低迷が続きました。このような状況の中、紐付き案件や物件の受注獲得に注力した結果、販売数量は前年並みを維持いたしました。

ステンレス鋼製品については、食品・医療分野を中心に低水準ながら一定の需要がみられ、造船分野も堅調に推移したものの、海外材の流入による価格競争の激化や半導体関連需要の回復の遅れなどにより、

数量・金額ともに伸び悩む結果となりました。

この結果、当事業の売上高は39,592百万円（前年度比5.6%減）、営業利益は1,290百万円（前年度比12.0%減）となりました。



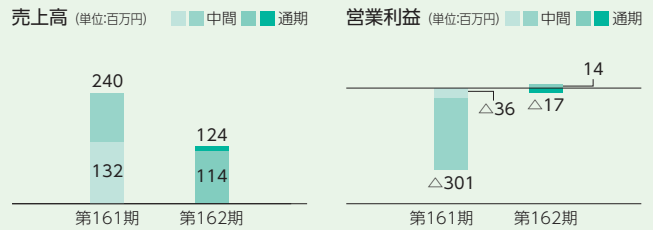
## 自転車関連事業

売上高  
**124**百万円  
前年度比 **48.4%**減

自転車関連事業においては、2025年12月をもって完成自転車販売事業から撤退いたしました。前年度は完成車の在庫について評価損を計上したことにより多額の損失を計上いたしましたが、当期は撤退後のアフターサービス対応等に伴う費用の発生にとどまり、前年度に比べ損失は縮小しました。

この結果、当事業の売上高は124百万円（前年度比48.4%減）、営業

損失は17百万円（前年度は営業損失301百万円）となりました。



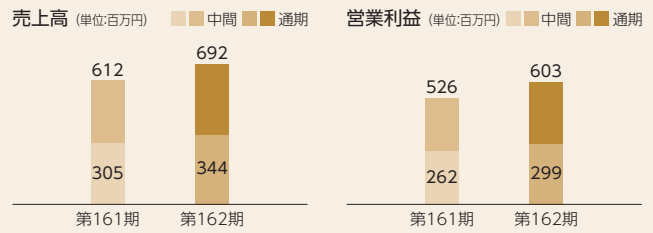
## 不動産等賃貸事業

売上高  
**692**百万円  
前年度比 **13.1%**増

不動産等賃貸収入については、東京都大田区の地代収入を中心に、関西工場リム工場跡地の地代収入や東京都江東区の自社ビル「アラヤ清澄白河ビル」の賃貸収入、大阪府茨木市の地代収入などにより、安定した業績をあげております。加えて、賃貸料の値上げ等により、収益は増加いたしました。

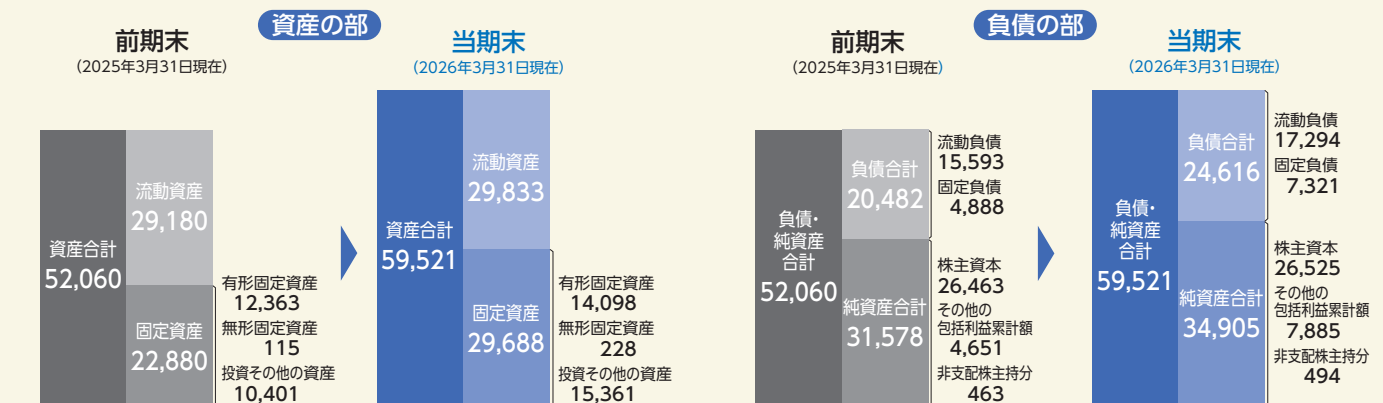
この結果、当事業の売上高は692百万円（前年度比13.1%増）、営

業利益は603百万円（前年度比14.6%増）となりました。



# 連結財務データ

## ● 連結貸借対照表 (単位:百万円)



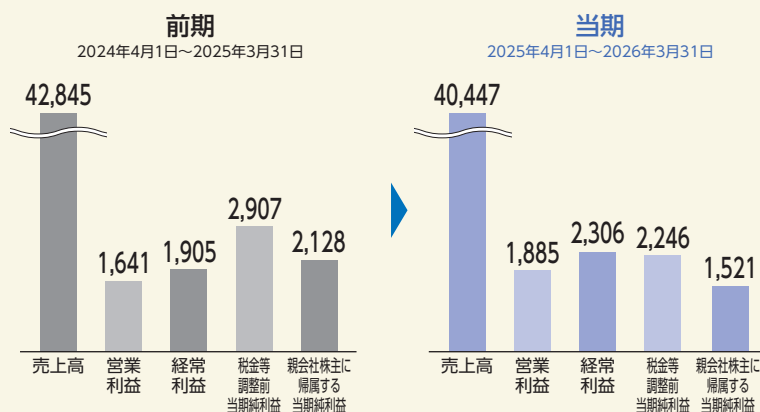
# 「株式分割を実施しました」

## 1株を2株に分割

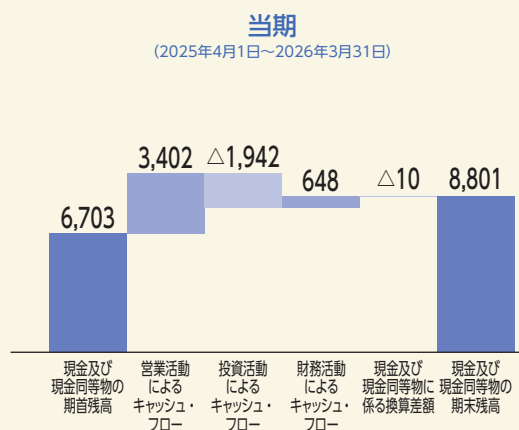
2026年3月31日を基準日として、株主様の所有する株式を1株につき2株の割合で分割しました（2026年4月1日が効力発生日）。中長期的な企業価値向上のため、株式分割による投資単位当たりの金額の引き下げにより、より幅広い層の投資家の皆様にご支援いただくとともに、当社株式の流動性の向上を図ることを目的としております。

なお、2026年3月期の期末配当につきましては、2026年3月31日を基準日としてお支払いするものになりますので株式分割前の株式が対象となります。

### ● 連結損益計算書 (単位:百万円)



### ● 連結キャッシュ・フロー計算書 (単位:百万円)



## 会社情報 [2026年6月25日現在]

### 会社の概要

社名	新家工業株式会社
設立	1919年11月25日
資本金	3,940,277,093円
本社	大阪府大阪市中央区南船場二丁目12番12号
営業所	西日本営業部 関西営業課 大阪府大阪市西淀川区竹島一丁目1番 西日本営業部 名古屋営業課 愛知県名古屋市南区荒浜町三丁目1番 東京営業部 東京都千代田区鍛冶町二丁目7番14号 CIRCLES神田駅前11階
工場	関西工場 大阪府大阪市西淀川区竹島一丁目1番 関東工場 千葉県印旛郡酒々井町伊篠字大山468-1 名古屋工場 愛知県名古屋市南区荒浜町三丁目1番 山中工場 石川県加賀市山中温泉上原町の3
関係会社	* アラヤ特殊金属株式会社 (大阪府大阪市) * 大栄鋼業株式会社 (大阪府岸和田市) * ステンレスパイプ工業株式会社 (大阪府堺市) * 三宅金属株式会社 (大阪府大阪市) * PT.アラヤ スチール チューブ インドネシア (インドネシア共和国) アトラスark株式会社 (埼玉県越谷市) (*印は連結対象子会社)

### 役員 [2026年6月25日現在]

代表取締役社長	市川圭司
代表取締役常務	胡居典明
常務取締役	大槻一
取締役	松尾政哉
取締役	細野豊
社外取締役	山中拓郎
社外取締役	鳥木千鶴
社外取締役	山本美帆
取締役(常勤監査等委員)	金井秀人
社外取締役(監査等委員)	西尾宇一郎
社外取締役(監査等委員)	鈴木蔵人

#### ホームページのご案内

<https://www.araya-kk.co.jp>



## 株式情報 [2026年3月31日現在]

### 株式の状況

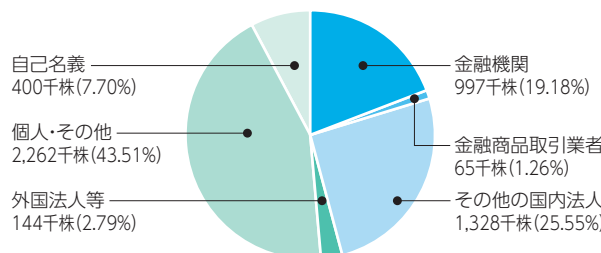
発行可能株式総数	16,000,000株
発行済株式の総数	5,200,000株
株主数(単元未満株主数を含む)	8,645名

### 大株主(上位10名)

株主名	持株数	持株比率
一般社団法人ツバメの会	245千株	5.11%
株式会社北國銀行	233	4.87
株式会社りそな銀行	209	4.36
株式会社三菱UFJ銀行	183	3.83
阪和興業株式会社	177	3.69
株式会社みずほ銀行	157	3.28
加賀商工株式会社	100	2.08
みずほ信託銀行株式会社	90	1.88
損害保険ジャパン株式会社	68	1.43
積水樹脂株式会社	66	1.38

(注) 1. 持株数については千株未満を、持株比率については小数点以下第三位をそれぞれ切り捨てて表示しています。  
2. 持株比率は自己株式(400千株)を控除して計算しています。  
3. 当社保有の自己株式を除く上位10名を記載しています。

### 所有者別株式分布状況



(注) 株式数については千株未満を切り捨てて表示しています。

### 株主メモ

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	毎年6月開催
単元株式数	100株
基準日	定時株主総会 3月31日 剰余金の配当 期末 3月31日 中間 9月30日
株主名簿管理人(特別口座の口座管理機関)	東京都千代田区丸の内一丁目4番5号 三菱UFJ信託銀行株式会社
同連絡先	〒541-8502 大阪市中央区伏見町三丁目6番3号 三菱UFJ信託銀行株式会社 大阪証券代行部 電話(フリーダイヤル)0120-094-777
公告方法	電子公告 当社ホームページに掲載いたします。 ( <a href="https://www.araya-kk.co.jp">https://www.araya-kk.co.jp</a> ) ただし、事故その他やむを得ない事由によって電子公告による公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載いたします。

(ご注意)

- 株主様の住所変更、買取請求その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問合せください。株主名簿管理人(三菱UFJ信託銀行)ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
- 特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、左記特別口座の口座管理機関(三菱UFJ信託銀行)にお問合せください。なお、三菱UFJ信託銀行全国各支店にてもお取り扱いいたします。
- 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。